

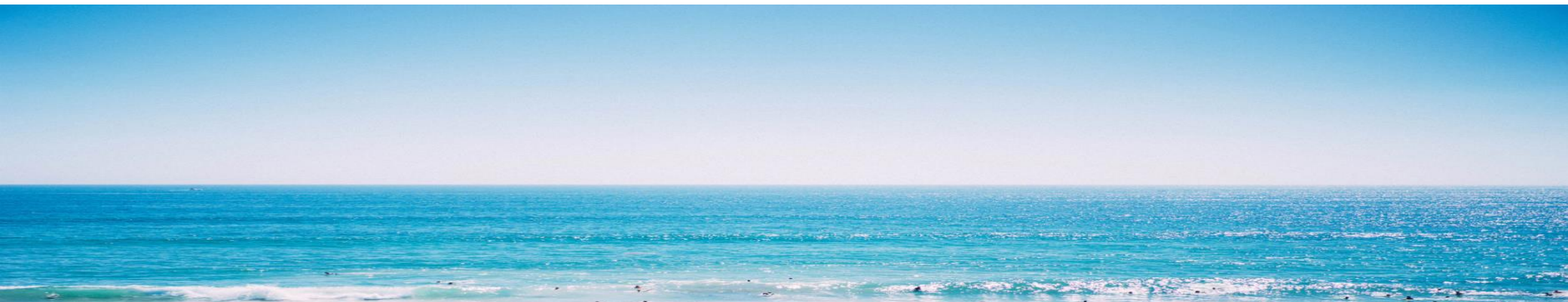
ワイコム通信 Vol.6

今回のVol.6では、アルコールチェックシステムについて取り上げたいと思います。

飲酒運転を無くす目的で運送業や鉄道業など運賃を得て物や人を運搬する『緑ナンバー』の車を使う事業者においては数年前からアルコールチェックの義務が課されています。しかし、飲酒運転による悲惨な事故は後を絶ちません。

この状況を改善するために道路交通法の改正が行われました。
2023年12月1日より事業所で使用する車においても、運転前後のアルコールチェックが義務化されました。
皆様の会社ではどのようにご対応されておられるでしょうか。

そこで今回は株式会社パイ・アール様のアルコールチェックシステム『**アルキラーNEX**』についてご紹介させていただきます。



アルキラーNEXについて

検知から管理・保守まで一貫したシステムで管理を行います。

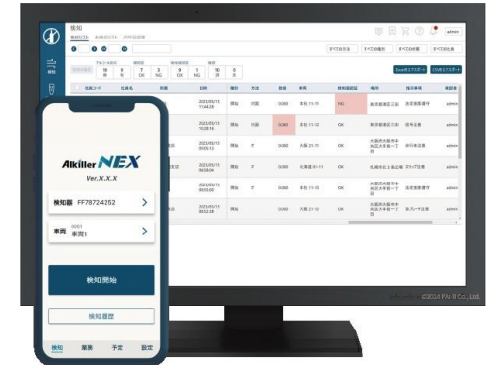
1



2



3



息を吹き込むだけで、いつ、どこで、だれが検知したかひと目でわかるアルコールチェックシステムです。

1. アプリを立ち上げ、スマートフォンと検知器を接続
2. 検知器に息を吹き込み、アルコールの有無を検知
顔認証システムにより、なりすましを防止
3. 検知結果がすぐにわかり、検知結果を自動でアプリと管理画面に同時に記録

簡易型アルコールチェッカーとの違い

簡易型アルコールチェッカーとは

検知器単体で使用する、記録機能をもたないアルコールチェッカーです。検知器単体の費用が安く、導入も簡単ということでこのタイプをご使用されている方が多いのではないのでしょうか。しかし目先の理由で導入した結果、下記のような事態が起こってはいないのでしょうか。

- ・ 検知器が使用されていないのに記録上は0.00mg/Lと記載されている
- ・ 結果が表示された検知器を写真に撮って送信。手間が掛かるうえに確実性がない
- ・ 検知結果は自己申告の為、客観的な証拠がない
なりすましやデータの改ざんが行われても防止できない
- ・ 検知器の交換など管理に手間が掛かる

アルキラーNEXにできること

1. 顔認証によるなりすましの防止や検知結果の自動記録による改ざん防止
吐息以外を吹き込むとエラーになる
2. 管理者が即時確認できる。アルコールが検知されたときは即時通知が来る
3. 検知器の交換期限を管理。自動更新(メンテナンス)のサービスがある

最後に

弊社においてもこれまでは簡易型アルコールチェック検知器を利用していました。しかし、安全運転管理者の立場からすると実際に測定しているのかわからず、正しくチェックが機能しているのかと疑問を持っている状態でした。そこでアルキラーNEXの導入を致しました。

顔認証により、なりすましの防止や吐息以外の検知が不可能な点など不正ができず、検知結果も改ざんできないようになっている為、このシステムを導入することで、安心することができました。また、警察署等へのチェック記録の提出にも安全運転管理者は即座に対応が可能です。

万が一、アルコールチェックが正しく行われておらず、飲酒運転してしまい事故を起こしてしまったら、会社としても社会的な責任が大きく問われてしまいます。この機会にアルコールチェックについて見直してみても、いかがでしょうか。アルキラーNEXについてご相談がございましたら、ぜひ弊社へお問い合わせください。